

地域を愛し、地域の担い手となる川中っ子をめざして

学校運営協議会について

①実施回数

- ・学期に1回開催
- ・校区合同学校運営協議会 各学期末に1回開催

②主な協議内容

- ・学校経営方針の説明、学校運営の現状と課題、これからの学校運営について今年度の学校運営協議会としての取組、情報交換（6月）
- ・第1回学校評価報告、学力向上の取組、取組状況報告、今後の取組（11月）
- ・第2回学校評価報告、来年度の学校運営について（2月予定）

③コーディネーターの活動

- ・学校と密に連絡を取り合い、学校支援ボランティアの募集をしています。

川中地区校区の
キャラクター
「いくらん」
です！

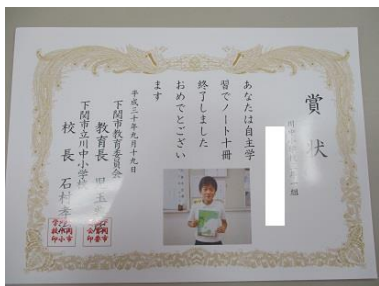


下関市立川中小学校

特色ある活動

◆学びの好きな子供を育てる【自主学习ノートコンクール】

子供たちの自ら学ぶ力を伸ばすために、3年生以上で「自主学习ノート」に取り組んでいます。今年度から子供たちの意欲を高めるために学校運営協議会委員の皆さんに協力をお願いし、1冊終了するごとに委員さんの名前入りのミニ賞状を渡しています。また、学校運営協議会で会長賞と優良賞を選んでいただき、表彰しました。



◆日本の伝統文化を継承する【茶道・華道・将棋・太鼓・昔のあそび・折紙教室】

年間6回ある茶道クラブ、将棋クラブ、太鼓クラブでは、地域の方を講師としてお招きし、子供たちに日本の伝統文化を専門的に教えていただいています。

2年目の活動となる「ルル・フラワーの会」では、季節のお花を地域の方が準備し、花の名前や生け花のコツなどを丁寧に教えてくださっています。学校がきれいなお花で彩られ、子供たちの心を和ませています。



茶道クラブ



将棋クラブ



ルル・フラワーの会

来年度に向けて

地域連携カリキュラムを作成し、教職員にコミスクの活動とよさを周知して、保護者の参画意識を高めるために、子供たちの成長の様子をしっかりと情報発信したりしていきたいと思っています。

「つながり」と「やりがい」 ～人のためになると感じた時、人は動く～

下関市立熊野小学校

学校運営協議会について

※めざす在り方

☆CSの中核・・・CSの機関車そして操縦士

最終承認・決定機関のとしての自覚

☆「辛口の隣人」として熟議、そして確実に実行する。

※協議会資料は前日までに配付し、報告は短時間で行う。忌憚なく必ず全員が発言して議論する。

☆学校課題をすべて伝えて対策を練り上げる。

※困る前に報告・相談して早期かつ早急に対応

☆過去と比較しない、これからをどうするかが大事！

※地域と家庭、学校をつなげる手立てを提案する。

特色ある活動

※人が人をつなげていく！ コミスクコーディネーターが大活躍！

◆さらに次の一手①「支援をつなぐ」～くまの応援隊～ ※登録制で現在100名登録

熊野小学校だけでなく熊野地区のボランティアとして「くまの応援隊」の活動をサポート

◇学習支援（放課後「習熟タイム」指導、読み聞かせ年間40回、ミシン・調理実習）

◇環境支援（草刈り、剪定、学習畑整備、図書室掲示、印刷の手伝い）

◇安全支援（登下校の見守り、プールの監視、校外活動引率） 他にも多数あり

◆さらに次の一手②「地域をつなぐ」～子供の参加を増やして地域行事の活性化～

毎年恒例の熊野地区三大イベント（くまの夏祭り・熊野ふれあい運動会・くまのウォークラリー）を盛り上げるため、子供の参加増をめざして学校運営協議会で「お楽しみチケット付きチラシ」を考案して児童や園児に配付。特にくまの夏祭りは過去最高の参加者数で主催者は大喜び！「やりがい」アップ！子供の参加が増えると同時に保護者の参加もアップ！子供と地域の方がふれ合う姿も多く見られた。来年度はさらにバージョンアップしたチラシを考案！

◆さらに次の一手③「活動が見える情報発信」～学校のホームページから地域のホームページへ～

たくさんの情報が詰まった「学校ホームページ」を平日毎日更新。学習や学校行事、CS活動、地域の行事等を写真と文書で発信。活動の見える化で「やりがい」アップ！また、家庭配付の文書も掲載して情報を確実に提供中。訪問者数1日500～600人と徐々に増加中。

学校ホームページのQRコード→



◆さらに次の一手④「コミスクの原動力」～保護者の本気を引き出す！～

熊野おやじの会・・・保護者等会員32名（常時募集中）1年間で学校環境整備など50万円相当の活動を行った。連絡会も懇親会も定期的に開催して情報交換を行っている。母親、地域の方、保護者OB、教職員の加入も増えている。連絡はLINEグループで行っている。

P T A O B会・・・P T A執行部のOBが学校行事の裏方を実施（P T A総会の児童預かり、運動会の飲み物販売、P T Aバザーの支援など）

◆さらに次の一手⑤「つながるツールの開発」～CSマスコットキャラクター誕生～

CSの親しみ度、周知度アップのために開発。児童にイラストを募集して代表委員会で候補を選出、各学級で投票して3案が決まり、合作して最終決定。みんなで協力して作った達成感、コミスクや地域への関心を深めていくきっかけになっている。缶バッジ（全児童配付）、ピンバッジやキャップ等作製中！



◆さらに次の一手⑥「大人の学び場」～学校を身近に、もっと知ってもらおう～

学校を地域の方や保護者の「大人の学び場」として設定し、フラワーアレンジメント、英会話、ハンゲル語、パソコン等の教室を定期的に行い、学校が学習と地域交流の場になっている。昨年度10月から開始して、これまで30回実施（各回15名）して約450人が来校して学んだ。

来年度に向けて

※来年度（新元号）は開校30周年記念行事でさらに連携・協働！

「一歩前進」しながら難しい場合はすぐに「元に戻る」ことを行い、無理せず歩んでいきたい。成果の共有だけでなく、負担も上手に共有しながら、「地域の学校」をめざしていきたい。

コミスクがめざすこと

保護者や
教員以外

信頼できる大人との出会い

・学習活動や地域行事などでたくさんの地域の方と出会い、信頼関係を築く。

業務改善

先生といっぱい話ができる

・学校応援団の支援で、教員が子どもと向き合う時間が確保される。

子どもは
地域の宝

地域みんなで子どもを育てる

・15歳までの学びや育ちをつなげていくために、地域の大人が話し合っって協働していく。

「日本一学びが好きな学校」をめざして

下関市立川中中学校

学校運営協議会について

- ◆ 本校学校運営協議会
 - ・コミュニティ・スクールの取組状況
 - ・学校の様子(生徒指導・学力向上)
 - ・今後の取組・提案(研修や地域貢献活動、熟議の予定について)
- ◆ 川中中学校区 合同学校運営協議会
 - ・各学校コミュニティ・スクールの取組状況
 - ・共通テーマ(重点的な取組)についての確認
 - ・熟議について

特色ある活動

◆ 熟議の実施

実施日：平成30年8月3日(金) 川中公民館

テーマ：「学びが好きなまち(川中校区)をめざして」
～学校・家庭・地域でできること～

参加者：68名(生徒11、教職員30、保護者6、地域9、学校運営協議会委員12)

参加者の感想

保護者

「中学生の発表が素晴らしかった。家庭・地域・学校の役割を再確認できた。」

学校運営協議会委員・地域住民

「地域の力も大事と思った。より一層、いろいろな方とお話ししいと思った。」

◆ 伝統文化の継承を目的とした取組 ～しめ縄づくり～

実施日：平成30年12月22日(土) 川中中学校武道場

参加者：川中小55名、熊野小28名、川中中20名、
ボランティア33名

会を終えて：児童・生徒の参加は103名でしたが、保護者も参加し大盛況でした。永続的な活動としていきたいです。



来年度に向けて

熟議を行う事前に「話し合いの結果を行動につなげよう」という声が学校運営協議会委員からも上がっており、熟議後は小中それぞれスマホの実態アンケート、生徒会活動の呼びかけ、講演会の開催など様々な活動につながっていきました。この流れを今年度で切らさず次年度につなげ、真の「学びが好きな校区」を目指します。